

---

# 決戦前夜

ルゼリア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

決戦前夜

### 【Nコード】

N3937N

### 【作者名】

ルゼリア

### 【あらすじ】

平ひよ。決戦前夜。タイトル通り。CP要素無し。ただの会話。

「なあひよ里」

ヴァインザード  
仮面の軍勢本部地下。そこは変わることのない人工の景色が広がっているだけ。

もう三日月が登り切ったであろう時間帯に平子真子と猿柿ひよ里は人工の崖の上でぼんやり地平線を見た。

「何や」

ひよ里は真子の方に目も向けずに返事をする。真子はそれを別段気にすることもなく、続ける。

「この戦いが終わったら・・・したいことあるか」

真子は真子でひよ里を見ずに問うた。風が吹かないから二人の金髪が揺れることもない。

「何やねん、急に」

ひよ里は怪訝そうに真子に向き直った。

「いやアなア。戦った後、何したいか考えてへんかったなあ思て」

真子はいつも通り、真意の読めない笑みを浮かべて頭をかいた。

「そうやな。復讐、しか考えてへんかったもんなあ」

味気も色気もない話や、と付け足した。

「やる？その後んこと全然考えてへんかったから」

「ええんとちゃう？いつも通り、今まで通りで。何か変えなあかんことある？」

ひよ里の腕が前に伸びる。うーん、とストレッチする声も漏れる。

「いいや。あらへんな」

「死神やないから尸魂界の掟に縛られることもないし。気ままに過ごしたらええんとちゃうか」

「朝起きて、顔洗って、飯食って、散歩や買い物して、学校行って、仕事して、帰ってみんなで飯食って、寝て。たまに内在闘争やって

もええわ。どや」

「ええな、それ。誰にも邪魔されへん。ゆっくりしたいなあ」

「そや。新しい義骸、喜助に造つて貰おか。ちよっと値が張るやろうけど、今の魂魄と同じ義骸でもええやろ」

「せやったら服買わな。ジャージ、もう少し大きいサイズでもええかな」

「・・・ジャージで。もっと女の子の服買ったらどうや」

真子があきれたように口を開いた。

「ええやん。そんなおしゃれしたい年でもあらへんし。義骸変えたついでに学校、一護んとこ通つてもええな」

「そんなに成長してるんか、ひよ里？」

こきつと音が鳴るくらい首をかしげる。

「ハゲが。前測った時より五センチ伸びとったわ」

思いつきりにらみつける。そこそこ可愛い顔が台無しや、と真子は密かに思った。

「そか。やったら一緒に高校行こか」

「ほんならもう、今日は寝よか。明日、尸魂界の奴ら、来るって喜助言うてたし」

「そやな。お休み、ひよ里」

「お休み、真子」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3937n/>

---

決戦前夜

2010年10月9日04時06分発行